



エメールだより

11月

エメール保育園
園長 江口 浩三郎

「ひとは、ひとりでは生きられない」

さわやかな秋晴れのもとで、園庭の木の葉も色づき落ち葉となって、地面ににぎやかなモザイク模様を描いています。春先からずっと、子どもたちのために大きな日かげを作ってくれ、戸外遊びを助けてくれました。頭の上から子どもの安全を願ってくれました。そのお礼に、グンと成長し、はっきりした顔つきになったひかり組の子どもたちが、いっぱい広がって遊んでいます。自然の変化が進歩をもたらすことを、つくづく感じさせられます。

ところで、「子どもはできるだけ早い時期から、豊かな社会性を身につけさせなければならない」と言われていて、私も賛成です。というのも、ひとには「群生本能」があり、他人とともに助け合い、協力しあって生きていく動物だからです。また社会性は人格の一部ですから、まだ幼い「人格形成期」に身につける努力が必要だからです。

他人と交わって得るものの第一は、他人の心(魂)に触れることによって自分の心が形づくられていくことです。より多くの心と接することによって、自分の心は磨かれていくのです。また、他人とはちがう自分を発見し、自分がどうあらねばならないかを模索し続けていきます。すなわち個性を形づくっていくのです。

しかしながら「社会」とは、「ちがった人間どうしが同じ道を歩いていく」という意味があるとおり、実際はそんなやさしいことではありません。そこでは当然自己主張のぶつかり合いや、他より多くの物を得ようとする競争が発生します。そんなことでは社会生活が壊れてしまいますので、「寛容さ」「謙虚さ」「従順さ」という資質が求められます。これらの資質が、ギクシャクした人間関係の潤滑油となってくれるからです。

それでは、豊かな個性を持ちながらも、良い社会性を身につけるためにはどうしたらいいのでしょうか。最大のポイントは、幼い頃からひとりの人間として認められ、意思を尊重され、仲間入りを許されながら育てていくことです。自尊心や自信に満ち、他人の存在や行動を受け入れることのできる生活をさせることです。そのためには、その子のまわりにいる人たちが、自分の存在が子どもの社会性の確立に、大きな影響を与えているという自覚が必要です。自分の心で子どもの心を磨きあげてやらねばなりません。

子どもたちが、これからの永い人生で多くの人と出会うときに、どんな自分を見せてくれるのかとても楽しみです。(園長より)

平成28年度保育施設等の利用申込み書提出について

平成28年度に進級される園児の入所利用申込書を次の期間に提出してください。

期 日:11月9日(月)・10日(火)・11日(水)・12日(木)

時 間:午前:8:30~9:30(10日はありません。午後のみです。)

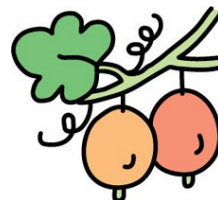
午後:16:30~18:30

場 所:保育園事務室・応接室

一次申込み締切日:平成27年11月20日(金)です。

*書類が不足して場合は、**受付できません**のでご注意ください。

*ご相談などありましたら事務室までおこしください。お電話でも対応いたします。



11月の行事予定

1	日	
2	月	
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	在園児書類提出
10	火	↓
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	避難消火訓練
19	木	社会遠足
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	誕生会
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

体育教室 5歳児

6・13・20・27日 金曜日

絵画教室4歳児 12日(木)

5歳児 18日(金)